

## 希学園 第405回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第405回公開テスト 小5算数 解説動画(2026年2月8日実施)	<a href="https://vimeo.com/1162942644/eb748da337">https://vimeo.com/1162942644/eb748da337</a>

1	(1) 44	(2) 1	(3) 1.82
---	--------	-------	----------

(4) 27000	(5) 0.4	(6) 55
-----------	---------	--------

(7) 1000	(8) 122.5	(9) 48
----------	-----------	--------

(10) 25
---------

2	(1) 25	(2) 160	(3) 56
---	--------	---------	--------

3	(1) 97521	(2) 59721	(3) 6657
---	-----------	-----------	----------

4	(1) 28	(2) 96	(3) 11
---	--------	--------	--------

5	(1) あつき君 グー チョキ パー	(2) かずや君 グー チョキ パー	(3) あつき君 グー チョキ パー
---	--------------------	--------------------	--------------------

6	(1) 98	(2) 1.1	(3) 12
---	--------	---------	--------

- (1) (2)  $\frac{1}{4} + \frac{3}{4} = \frac{4}{4} = \underline{\underline{1}}$

(7)  $125 \times 80 \times 0.04 \times 2.5 = \underline{\underline{10000}} \times 0.1 = \underline{\underline{1000}}$

(8)  $120000 \text{ g} + 0.01 \text{ t} \times 0.25$   
 $= 120\text{kg} + 10\text{kg} \times 0.25 = \underline{\underline{122.5\text{kg}}}$

(9)  $1 \text{ 日} \div 9 + \boxed{\quad} \text{ 秒} \times 25 = 3 \text{ 時間}$   
 $1 \text{ 日} = 24 \text{ 時間} = 1440 \text{ 分}, \quad 3 \text{ 時間} = 180 \text{ 分}$   
 $1440 \text{ 分} \div 9 + \boxed{\quad} \text{ 秒} \times 25 = 180 \text{ 分}$   
 $\boxed{\quad} \text{ 秒} \times 25 = 180 \text{ 分} - 160 \text{ 分} = 20 \text{ 分} = 1200 \text{ 秒}$   
 $\boxed{\quad} = 1200 \div 25 = \underline{\underline{48}} (\text{秒})$

(10)  $1000\text{kg} \div 25000 = 0.04\text{kg} = 40 \text{ g}$   
 $32 \text{ g} \times \boxed{\quad} - 40 \text{ g} = 760 \text{ g}$   
 $\boxed{\quad} = (760 \text{ g} + 40 \text{ g}) \div 32 \text{ g} =$

- [2](1) 5マスの形が、表の一番左上になるとき。  
 $1 + 2 + 3 + 7 + 12 = \underline{\underline{25}}$

(2) 5マスの形の一番左上に入る数を  $x$  として、各部分の数は右の図。この合計は、  
 $x \times 5 + 1 + 2 + 6 + 11 = x \times 5 + 20$   
よって  $x$  が28のとき、 $28 \times 5 + 20 = \underline{\underline{160}}$

(3)  $x \times 5 + 20 = 300 \rightarrow (300 - 20) \div 5 = \underline{\underline{56}}$

- 〔3〕(1) 使っていない5枚のカードは、〔1〕, 〔2〕, 〔5〕, 〔7〕, 〔9〕  
よって、97521。

(2)  $100000 - 36408 = 63592$ より,  
もう1つの5けたの数をこれに近づける。  
63592より大きい数では71259, 小さい数では59721。  
よって、59721。

(3) 36408より大きい数では51279, 小さい数では29751。  
小さい29751の方が36408に近い。  
よって差は、 $36408 - 29751 = \underline{\underline{6657}}$

- 4(1) ニュース①の1辺の長さを,  
 $\square\text{cm}$ とする。  
 それぞれのニュースのたて,  
 横の長さは,  
 $54 - 2 \times 2 = 50(\text{cm})$   
 $40 - 2 \times 3 - \square = 34 - \square(\text{cm})$   
 $54 - 2 \times 3 - \square = 48 - \square(\text{cm})$  より, 上の図(単位 ; cm)。  
 ニュース①とニュース②のまわりの長さが同じとき,  
 $\square \times 4 = (34 - \square + 50) \times 2 = 168 - \square \times 2$   
 よって $\square$ は,  $168 \div (4 + 2) = \underline{\underline{28(\text{cm})}}$

(2) ニュース③のまわりの長さは,  
 $(\square + 48 - \square) \times 2 = \underline{\underline{96(\text{cm})}}$

(3) ニュース②のまわりの長さは,  $96 + 50 = 146(\text{cm})$   
 $146 \div 2 = 73(\text{cm}) \quad 73 - 50 = 23(\text{cm}) \cdots \text{ニュース②のたて}$   
 $34 - 23 = 11(\text{cm})$

- ⑤(1)  $3 + 3 = 6$  (回) より、あいこがないので、7回のじゃんけんのうち、6回は2人のどちらかがグーを出している。2人ともグーを出していない残り1回はチョキとパーの組み合わせとなる。これがかずや君の負け(パー)だと、かずや君はあとパーを1回しか出せず、あつき君の3回のグーに対して2回は負けてしまう。よって、これはおかしい。よってそのときのじゃんけんはあつき君の負けで、あつき君がパーで、かずや君がチョキ。

- (2) 6回目のじゃんけんはあつき君の勝ちで、5回目の手から考えて、あつき君の手はグーではないのでパーかチョキ、かずや君の手はパーではないのでチョキかグー。この組み合わせであつき君が勝つのは、あつき君がパーで、かずや君がグー。

- (3) 手の形の組みあわせは右の表のように決まる。問題文からイが5回目なので、あつき君の勝ちはアとエで、(2)より6回目がエ、2回目はアとなる。1回目は2回目(ア)とちがう手の組み合わせなので、残る手の形では力(キ)のみ。よって、あつき君がチョキで、かずや君がグー。

アイ・エ・オ・カ・キ						
あ	グ	グ	バ	バ	チ	チ
カ	チ	バ	バ	グ	チ	グ
					②	⑤
						⑥

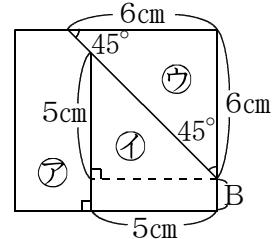
あ	グ	グ	グ	ハ	パ	パ <sup>。</sup>	チ	チ
か	チ	ハ	パ	パ	グ	チ	グ	グ
(2)	(5)			(6)				

また、じゃんけん全体では次のような表となる。

回目	1	2	3	4	5	6	7
あつき	チョキ	グー	チョキ	パー	グー	パー	グー
かずや	グー	チョキ	グー	チョキ	パー	グー	パー

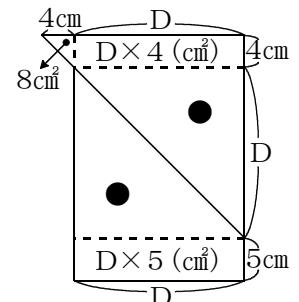
- 6(1)  $70 \times 70 \div 2 \times 3 = 7350 (\text{cm}^2)$  長方形全体の面積  
 $C + D = 7350 \div (70 + 5) = 98 (\text{cm})$ .

- (2) ①を直角三角形と長方形に分ける。  
 $6 \times 6 \div 2 = 18(\text{cm}^2)$  ……①, ⑦  
 $5 \times 5 \div 2 = 12.5(\text{cm}^2)$   
 $18 - 12.5 = 5.5(\text{cm}^2)$   
 $B = 5.5 \div 5 = 1.1(\text{cm})$



- (3) ①, ⑦をそれぞれ、右の図のように区切って考える。●どうしの面積は同じなので、●を除いた面積どうしも同じ。

$4 \times 4 \div 2 = 8$  (cm<sup>2</sup>) より、  
 $D \times 4 + 8 = D \times 5$  となる。  
よって、Dは8 cmで、Aは、  
 $8 + 4 = 12$  (cm) となる。



(配点) 各 4 点 × 25